

## 一般講演 午前の部

開始 時間	第1会場 (小会議室405)		第2会場 (小会議室401)	
	講演 番号	演題・発表者・所属	講演 番号	演題・発表者・所属
10:00	1	水稻生長モデルとリモートセンシングの非逐次データ同化による収量予測  野口武文 <sup>1</sup> , 安達俊輔 <sup>2</sup> , 山下恵 <sup>2</sup> , 神野恭光 <sup>3</sup> , 田中浩章 <sup>4</sup> , 井戸正和 <sup>4</sup> , 立石涼子 <sup>3</sup> , 芳賀健 <sup>4</sup> , 山中晃徳 <sup>5</sup> ( <sup>1</sup> 東京農工大学工学部, <sup>2</sup> 東京農工大学大学院農学研究院, <sup>3</sup> トヨタ・コニック株式会社, <sup>4</sup> 株式会社電通, <sup>5</sup> 東京農工大学大学院工学研究院)	7	麦類難防除雑草カラスムギの登熟過程における出芽能力獲得時期と脱粒性獲得時期の解明  大橋俊子 <sup>1*</sup> 、皆川博 <sup>2</sup> 、福田弥生 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 茨城県農業総合センター農業研究所・ <sup>2</sup> 茨城県農業技術課・ <sup>3</sup> 茨城県県南農林事務所つくば地域農業改良普及センター)
10:18	2	千葉県における出穂期予測モデルを活用した作付計画作成支援ツールの構築  青木優作 <sup>*</sup> ・望月篤・桑田主税 (千葉県農林総合研究センター)	8	水稻、コムギ、ダイズ、およびトウモロコシにおける出芽性の差異  福島陽 (農研機構中日本農業研究センター)
10:36	3	水稻品種「にじのきらめき」の刈取時期の違いが玄米収量、品質、食味官能値へ及ぼす影響  高橋真史 <sup>*</sup> ・上野直也 (山梨県総合農業技術センター)	9	土地利用型作物における導入技術選択のための圃場調査法  丹野和幸 (埼玉県大里農林振興センター)
10:54	4	山梨県低標高地における水稻品種「にじのきらめき」の施肥体系と幼穗形成期の生育指標値  上野直也 <sup>*</sup> ・高橋真史・石井利幸 <sup>1)</sup> (山梨県総合農業技術センター・ <sup>1)</sup> 山梨県食糧花き水産課)	10	緑肥と2月播麦類を組み合わせた主穀輪作体系の経営的評価  荒川直也 <sup>1*</sup> , 丹野和幸 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 埼玉県農業技術研究センター, <sup>2</sup> 埼玉県大里農林振興センター)
11:12	5	高温抵抗性水稻品種「ふさおとめ」における穂と止葉の表面温度および蒸散特性  北浦健生 <sup>*1,D2</sup> ・横山杏輔 <sup>1,B4</sup> ・水鳥希洋人 <sup>2</sup> ・安達俊輔 <sup>1</sup> ・田中一生 <sup>1</sup> ・大川泰一郎 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東京農工大学大学院農学府・ <sup>2</sup> 千葉県農林総合研究センター)	11	パン用小麦「ゆめかおり」の水田転換畑におけるタンパク質含有率向上のための追肥法の確立  宮本健矢 <sup>*</sup> 、杉山秀樹、横山朋也、池田千亜紀 (茨城県農業総合センター農業研究所)
11:30	6	キノア品種の違いがアーバスキュラー菌根形成と群集構造に及ぼす影響  斎藤孝太郎 <sup>1*</sup> ・横山愛実 <sup>2</sup> ・小高愛結 <sup>2</sup> ・吉田裕貴 <sup>2</sup> ・肥後昌男 <sup>2</sup> ・磯部勝孝 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 日本大学大学院生物資源科学研究科, <sup>2</sup> 日本大学生物資源科学部)	12	ササゲの再生二期作栽培において刈り取り高さが収量に及ぼす影響  成本智哉 <sup>1*B4</sup> ・塩津文隆 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 明治大学農学部)
11:48			13	コンニャク遺伝資源の球茎におけるトリメチルアミン含量の評価  青柳大智 <sup>1*</sup> ・岡部繭子 <sup>1</sup> ・廣瀬竜郎 <sup>1</sup> ・橋田庸一 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 高崎健康福祉大学農学部)

## 一般講演 午後の部

開始 時間	第3会場 中会議室（201）	
	講演 番号	演題・発表者・所属
15:00	14	<p>塩ストレス下でのキノアの表皮プラッダー細胞へのナトリウムの蓄積について</p> <p>渡邊丈<sup>1 M2*</sup>・伊藤優花<sup>2</sup>・瀬戸しほり<sup>2</sup>・肥後昌男<sup>2</sup>・今村智弘<sup>3</sup>・森正之<sup>3</sup>・磯部勝孝<sup>2</sup> (<sup>1</sup>日本大学大学院生物資源科学研究科, <sup>2</sup>日本大學生物資源科学部, <sup>3</sup>石川県立大學生物資源環境学部)</p>
15:18	15	<p>土壤の酸化還元状態を制御した水稻における生育期間全体を通じたメタン排出の動態</p> <p>五十嵐匡日子<sup>1B4*</sup>・堀口元気<sup>2</sup>・大川泰一郎<sup>2</sup>・安達俊輔<sup>2</sup> (<sup>1</sup>東京農工大学農学部・<sup>2</sup>東京農工大学大学院農学府)</p>
15:36	16	<p>異なる点滴灌漑制御下におけるイネ品種「モンスター農工大1号」のバイオマス生産特性</p> <p>佐野朱理<sup>1*, B4</sup>・小林勇太<sup>2, M1</sup>・安達俊輔<sup>2</sup>・大川泰一郎<sup>2</sup> (<sup>1</sup>東京農工大学農学部, <sup>2</sup>東京農工大学大学院農学府)</p>
15:54	17	<p>水稻再生二期作栽培の北限である関東地域におけるコシヒカリ、にじのきらめきの収量性評価</p> <p>永友理久<sup>1*B4</sup>, 畑板穂<sup>1</sup>, 柴田栞里<sup>2</sup>, 加藤洋一郎<sup>3</sup>, 塩津文隆<sup>1</sup> (<sup>1</sup>明治大学農学部, <sup>2</sup>明治大学農学研究科, <sup>3</sup>東京大学農学部)</p>
16:12	18	<p>茨城県筑西市の水稻再生二期作栽培における刈り取り高さがの収量および品質に及ぼす影響</p> <p>松本充平<sup>1*B4</sup>・加島美空<sup>1</sup>・成本智哉<sup>1</sup>・堀内結衣<sup>1</sup>・高木亜希歩<sup>1</sup>・永友理久<sup>1</sup>・井上菜々子<sup>1</sup>・畠板穂<sup>1</sup>・山田廉<sup>2</sup>・塩津文隆<sup>1</sup> (<sup>1</sup>明治大学農学部, <sup>2</sup>明治大学農学研究科)</p>
16:30	19	<p>ハワイと日本で栽培した日本由来イネ品種の収量特性の比較</p> <p>滝明花音<sup>1B4*</sup>・堀内尚美<sup>1</sup>・本田爽太郎<sup>1</sup>・田中一生<sup>1</sup>・山下恵<sup>1</sup>・大川泰一郎<sup>1</sup>・Tomoaki Miura<sup>2</sup>・山中晃徳<sup>3</sup>・安達俊輔<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東京農工大学農学部・<sup>2</sup>ハワイ大学マノア校 CTAHR・<sup>3</sup>東京農工大学工学部)</p>